



Guts! 通信

討議資料



横浜市議員（戸塚区選出）
坂本勝司 市政報告 2023年11月号②
発行責任者：坂本勝司事務所

★戸塚のために★ 横浜市議員 坂本勝司

<<戸塚区から日本一のチーム誕生を目指して！全力プレーで奮闘中！>>



戸塚区内に練習拠点をもち、日本のトップリーグにて活躍しているスポーツチームは、女子ソフトボールの日立サンディーバ、女子ラグビーフットボールのYOKOHAMA TKM、女子サッカーのニッパツ横浜FCシーガルズ、男子バドミントンの日立情報エンジニアリングです。全チームが日本一を目指せる位置で戦っており、すべての試合で最高のプレー・パフォーマンスを発揮するために、戸塚の地で全力で練習し努力されています。戸塚区民みんなで各チームの日本一を後押しして下さい！ 試合日程を確認の上、熱い応援をお願い致します。

戸塚拠点のスポーツチームを応援しよう！

女子ソフトボールチーム 日立サンディーバ

女子ラグビーチーム YOKOHAMA TKM



<2023JD リーグ>
東地区2位(20勝9敗)
プレーオフにて敗退



<関東女子ラグビー>
★12月3日(日)
日本体育大学グランド
YOKOHAMA TKM vs OBL



女子サッカーチーム
ニッパツ YOKOHAMA FC Seagulls



<2023 なでしこリーグ1部>
第5位 11勝7敗4分



バドミントン
日立情報通信エンジニアリング



S/Jリーグ開催中 第3戦 小田原アリーナ
12月10日(日) 12時45分開始
日立情報通信エンジニアリング vs 東海興業



新型コロナワクチン秋接種が始まっています！

コロナワクチン、インフルエンザと冬に向けて心配される方はお早めに！接種情報は右 QR コードにてご確認ください。

横浜市 新型コロナワクチン接種コールセンター

予約 ☎ 0120-045-112 ☎ 045-550-4226 (24時間受付)
問合せ ☎ 0120-045-070 ☎ 050-3588-7191 (24時間受付)

秋開始接種の詳細

期 間	9月20日～令和6年3月31日	接種場所	市内医療機関
対象者	初回接種を完了した生後6か月以上のすべての方 ※接種間隔は、前回接種から3か月以上		
使用ワクチン	オミクロン株(XBB.1.5) 対応ワクチン (ファイザー社・モデルナ社) など ※オミクロン株(XBB.1.5) 対応ワクチンは流行主流株に対応した新しいワクチンです		
接種券	5月8日以降に追加接種(3回目以降の接種)を ●受けた方: 9月11日(月) から順次発送 ●受けていない方: お手元の接種券を使用		
予約方法	医療機関ごとに予約方法が異なります ① 医療機関への直接予約 ② 市の予約システム・コールセンターを利用した予約 ※区役所等で予約代行を実施しています(②で予約できる医療機関のみ)		

無料で
受けられます！



新型コロナワクチン接種に関する
特設ページはこちらから



坂本勝司活動アルバム

地域で見かけましたら是非お声掛け下さい！



◆毎週月曜日・火曜日 駅頭活動実施中！ ◆支援する会行事企画・実施 ◆地域行事・区行事参加 ◆消防団活動 ◆各種スポーツ応援



※ 地域改善活動：道路の整備・改善、急傾斜地対策、住宅問題、河川環境、草除去 等々 地域のご相談は坂本事務所まで！

お問い合わせ：坂本勝司事務所 045-869-0702まで

★横浜市会第3回定例会 決算特別委員会局別審査 ★



■市民局審査 2023年10月10日（火）

市民局に対しては、2013年当時市内に460件の落書きがあり、キレイな横浜の街のために、落書き行為を防止する条例が必要であるとの考えから、当時の民主党横浜市議員団として条例を提案し、他会派の賛同にて条例会したことから、コロナ禍から現状の状況を確認しました。結果は減少傾向にあったものの、コロナ禍にて落書き行為が増加傾向にあることが分かり、この点は再度地域防犯の観点からも落書き防止を進めることの必要性を確認出来ました。

1 落書き対策 **【答弁記載】**

(1) 令和4年度の落書きの状況及び落書き防止に向けた取組み

【答弁】昨年度の発生件数は489件で、消去した件数は466件。

新たな落書きを誘発しないよう、各施設管理者が速やかに消去をしている。また、防犯キャンペーン等において啓発活動を行うほか、地域の消去に対して、落書き除去剤やスポンジなど、物品の貸出しや提供を行っている。

(2) 落書きのない美しいまちを目指した取組み

【答弁】快適で良好な生活環境が維持・確保された安全・安心なまちに住み続けていただくため、また、横浜市を訪れていただいた皆様にもう一度訪れようと思っていただくためには、落書きのない美しいまちであることは重要だと考えている。

落書き防止の啓発をはじめ、自治会町内会の皆様や警察などと連携したパトロール活動、落書きされた場合の速やかな消去など、市民の皆様や関係機関とともに、一層力を入れて取り組んでいく。

※他の質問内容は以下項目です。

2 高齢者の防犯啓発

(1) 現在の高齢者への防犯啓発の取組み

(2) 今後の高齢者への防犯啓発の取組み

3 自治会町内会館の耐震化に向けた取組み

(1) 自治会町内会館の老朽化の現状

(2) 老朽化している自治会町内会館の耐震補強工事を促進すべきに対する見解

4 地区センターの利用状況とコロナ後の取組み

(1) コロナ前とコロナ後の利用状況

(2) 利用者を増やすための取組み

(3) 広報にデジタルサイネージを活用すべきに対する見解



■総務局審査 2023年10月12日（木）

総務局に対しては危機管理に関して質問しました。デジタルサイネージによる災害時の行動統制や普段からのサイネージへの関心に繋がる環境整備や様々な情報伝達についての質問や災害時の在宅避難の必要性、ペット避難の様々な検討を進める必要性を問題提起させて頂きました。今後も、地域防災拠点のみでの災害時の受け入れ態勢だけでなく、様々なペットの避難や地域との関係性など、危機管理のあらゆる想定を進めることについて質疑させて頂きました。

1 発災時の帰宅困難者対策

(1) 横浜駅周辺混乱防止対策会議で行っている訓練の状況

(2) 横浜駅周辺におけるデジタルサイネージを活用した災害時の情報発信

(3) 「デジタルサイネージでの情報発信の取組検証を進め、みなとみらい

地区や市内主要駅へ水平展開すべき、そして活用を加速化すべき」

2 災害時を想定した通信訓練

(1) 市本部・区役所・地域防災拠点等を結ぶ通信網

(2) 通信訓練の内容

(3) 「あらゆる通信障害のリスクを想定した訓練も実施すべき」

3 防災スピーカー

(1) 防災スピーカーの設置状況

(2) 防災スピーカーの設置基準とカバー率

(3) 防災スピーカーの課題

(4) 「様々な手段を組み合わせ、災害情報が確実に伝わる仕組みを作っていくべき」

4 在宅避難 **【答弁記載】**

(1) 避難所での避難生活の課題

【答弁】避難所では、慣れない生活環境で、家族以外の避難者と、集団での避難生活を送ることになる。物資や一人当たりの生活スペースが限られているほか、十分なプライベート空間の確保は難しく、様々な制約がある。そのため、発災前の生活との落差が大きく、その状況が、避難生活でのストレスとなり、体調不良や衛生環境の悪化などにつながる懸念もあると考えている。

(2) 在宅避難の必要性

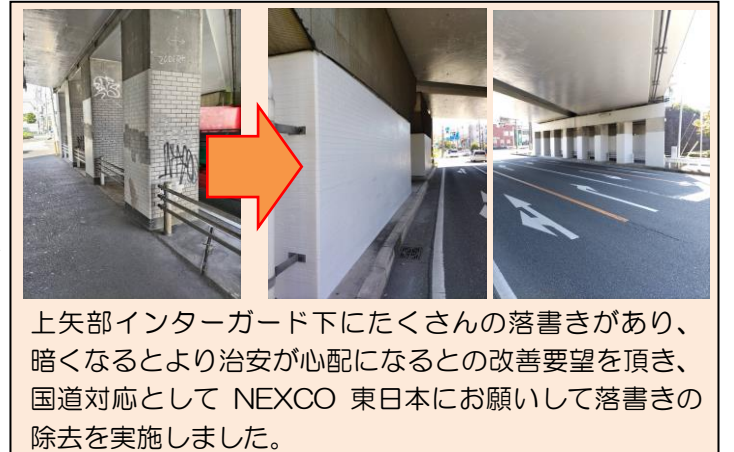
【答弁】災害発生時に自宅に被害がなく、住み続けられる場合は、在宅避難をすることで、普段に近い環境で生活ができる。そのため、被災生活のストレス軽減のほか、早く日常生活を取り戻すことにもつながる。また、在宅避難により、避難所の混雑を解消でき、避難者のストレス軽減にもつながるので、在宅避難という選択肢は、自助だけでなく間接的に地域で助け合うという意味で、共助の一つであるというふうに考えている。

(3) 在宅避難に向けて行うべき備え

【答弁】在宅避難に向けては、家具が倒れて生活できなくなることを防止するため、家具の転倒防止を行うことや、被災生活で必要となる食料や物資を備蓄しておくことが必要。また、在宅避難でも、足りない物資は自治会町内会などでまとめて、地域防災拠点に受け取りに行くこととなり、普段から自治会町内会や拠点の訓練に参加しておくことも、必要な備えであると考えている。

(4) 「在宅避難についてもっと啓発すべき」

【答弁】避難所での避難生活によるストレスなど、様々な課題を解決するためにも、在宅避難は自助だけでなく、共助の視点からも非常に重要となるので、これまで以上に力を入れて啓発をしていく必要があると考えている。具体的には、広報よこはまや動画での啓発のほか、チラシやパンフレット等を作成して、更なる啓発に取り組んでいく。



上矢部インターガード下にたくさんの落書きがあり、暗くなるとより治安が心配になるとの改善要望を頂き、国道対応として NEXCO 東日本にお願いして落書きの除去を実施しました。



ペット避難も大きな課題

環境省などからもペット避難についての準備など示されていますが、横浜市としても、在宅避難のあり方と近隣公園や県有施設などの活用にて、ペット避難場の必要性を真剣に議論すべき時期だと思います。引き続き、議会にて問題提起していきます。